

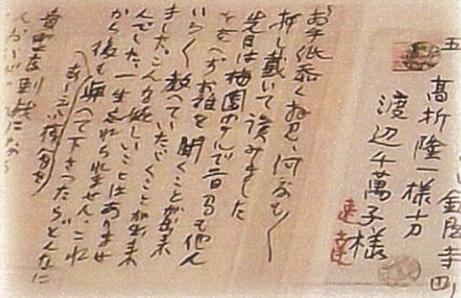
谷崎没後60年

潤一郎、 終活する

文豪谷崎 死への挑戦

谷崎潤一郎は、1965年、79歳で世を去る。当時としては珍しいほどの長命だった文豪は、終わりの時を迎えつつある晩年といわれる時期も長かったが、その間にも多くの名作・傑作・話題作を執筆し続けた。それは、作家として人としての人生の総決算であり、死への挑戦の営みでもあった。谷崎没後60年の春、文豪の「死へ挑んだ総括」の有り様を跡づける。

特別展 関連講座



谷崎最晩年の肉筆書簡（昭和38年渡辺千萬子宛）

学芸員が語る春の特別展 潤一郎、終活する

日時：4月20日（日）午後2時～3時
場所：当館講義室
講師：井上勝博（当館学芸員）
定員：20名（要予約）

*観覧料のみでご参加いただけます



トリアドルパントの渡辺千萬子
棟方志功/木版彩色

ロビーパネル展示

文豪谷崎、若き日々 ～関東時代の潤一郎～

会期：3月15日（土）～6月8日（日）



文壇デビュー頃の谷崎

関西移住を機に、作家としての本格的な開花の時を迎えた谷崎。豊穡への助走ともいえる時代、写真の中の若き文豪は何を語る。

※6/8（日）最終日は13時で終了となります。

没後60年イベント【講座】

谷崎 × 乱歩 探偵小説、新時代の幕開け

日時：4月26日（土）
午後2時～3時
場所：当館講義室

講師：永井敦子（当館学芸員/甲南女子大学講師）
定員：20名（要予約）

*観覧料のみでご参加いただけます



江戸川乱歩
出典：「近代日本人の肖像」（国立国会図書館）を加工して作成

没後60年を迎える谷崎と乱歩。大正期に数多くの探偵小説を創作した谷崎と、それらの作品を読み、影響を受けて作家となった乱歩。二人の影響関係を紐解きます。

◆学芸員によるギャラリートーク◆

日時：3月30日（日）、5月18日（日） 午後2時～（約30分）
場所：当館展示室（予約不要）

谷崎の日邸「鎖瀾閣」VRで復元

下記の期間、専用ゴーグルでのVR体験ができます。

3月15日（土）～3月23日（日）

お持ちのスマートフォンでQRコードを読み取り、
ゴーグルに装着してご覧いただけます。

時間：約11分 対応端末：android（アンドロイド）

ゴーグル貸出は受付にてお申し出ください。
〈貸出回数1台〉

谷崎潤一郎が昭和初期に数年居住した「鎖瀾閣」（神戸市東灘区）は平成7年の阪神大震災で全壊。たつみ都志氏（武庫川女子大学名誉教授）、NPO法人 潤が復元活動を行い、このたびVR映像が完成した。



着物でおでかけDAY

3/15（土）・4/19（土）・5/24（土）に着物で
ご来館された方は、無料で入館いただけます。



※上記内容は、状況により変更となる場合があります。最新情報はHPでご確認ください。

芦屋市谷崎潤一郎記念館

Tanizaki Junichiro Memorial Museum of Literature, Ashiya